

1 ねらい / テーマ

地球温暖化が起きたのはなぜか、また、その進行のスピードが速かった理由はなぜかということに、自分の生活を見つめ直すことで気づき、地球温暖化と自分の暮らしが密接に繋がっていることを意識するきっかけをつくる。

テーマ：地球温暖化の原因と対策、自分の生活と地球温暖化のリンク

2 概要

「今日子ちゃんのアルバム」には、一人の女性が成長していく約30年間の写真の記録と関連するグラフ、「百年アルバム」には約100年間の写真の記録と年表が盛り込まれている。アルバムを開いて、暮らしの様子や社会の状況が変化してきたことを振り返る。やり取りや会話、ワークシートなども活用して、日本人の暮らしぶり（ライフスタイル）の変化と地球温暖化の進行との関わりについて考えていくプログラム。

■所要時間・・・25分

■対象層・・・小学5年生以上

■適 数・・・指導者1名あたり参加者10名程度

3 皆さんにご用意いただくモノ

※JCCCAからの貸出物は、「チェックリスト」をご覧ください。

色鉛筆、カラーペン、鉛筆など筆記用具：一式

4 関連づけしやすいJCCCAの貸出ツール

- ツール A02-01 「持てるかな？エネルギーのかばん」・・・私たちの便利な暮らしを支えるためにたくさんのエネルギーが使われていることを実感する。
- ツール A03-01 「ライフスタイル研究所～省エネ大作戦～」・・・使い捨て製品や電化製品などと私たちはどうつきあって行くのかを考える。
- パネル A04-01、02、03、04 「夜の地球」・・・たくさんのエネルギーを使っている国が一目瞭然でわかる世界地図。
- ツール A03-04 「エコのタネを見つけよう」・・・家の中にあるエネルギーで動くものを、間取り図の上に置いていくワークを通して、たくさんの便利なものに囲まれて生活していることと、自分自身の生活からCO2が出ていることに気づく。

5 活動プログラムの進め方（例）



1：準備しよう

道具類をそろえ、プログラムを行う場のセッティングを行う

★ワンポイントアドバイス
 アルバムをみんなでじっくり見られるような場づくりを心掛ける。



2：導入（約2分）

いつのこと？

今の生活と、自分の生まれた頃や親が子供だった頃の、生活の違いなどについて尋ねることで、昔と今の違いについて考えるきっかけを作る。

●補足「対象者にあった問いかけをしよう」
 ・小中学生くらいならゲーム、大学生なら携帯やパソコン、年配の方であれば洗濯機やテレビ・ラジオなど、対象者によって最初の問いを変えていこう。

例)「自分の生まれた頃と今では、生活はどんなふうになりましたか？」または「おじいちゃんおばあちゃんが子供だった頃と今の生活は何が違うでしょう？」

「あなたが初めて携帯電話を持ったのはいつですか？」または「家にエアコンがついたのはいつですか？」



3：本体（約3分）

アルバムを見てみよう

「100年アルバム」または「今日子ちゃんのアルバム」を開き、暮らしがどんなふうに変化してきたのかを見てみよう。

●補足
 <アルバムの使い方>
 「今日子ちゃんのアルバム」は電化製品の歴史が綴られているが、その他の情報は入っていないので、「食」「商業」「交通」などの話題が豊富になる場合は、「100年アルバム」を活用しよう。

例)「この時代流行っていた遊びって何だっけ？」「ビデオが家に来たのはいつ？」「洗濯機が普及しはじめたのはいつだろう？」

●補足
 「100年アルバム」を見ながら、生活を便利にするものがいつ頃から出てきたのか探させるとよい。



4 : 本体 (約 15 分)

自分はどう？

ワークシート「あなたの家の電化製品大集合！」を書くことで、自分の生活の移り変わりをふりかえる。(小中学生の場合は、今の生活と今日子ちゃんの生活を比べたり、親子で協力して書いてもらったりしてもよい。)

★ワンポイントアドバイス
鉛筆だけではなく、カラーペンや色鉛筆なども使ってみると楽しい。



ワークシートを書き終わったら、グループ内で見せ合ったり、どんなことを書いたか発表したりする。

「家庭の家電製品世帯あたりの保有率」のグラフなどから、生活の変化が地球温暖化につながっていることを確認する。

例)「エネルギーを使うものがどんどん増えていきますね。電気を作るため、車を動かすために石油やガソリンを燃やすと、地球温暖化の原因になる二酸化炭素が出てしまいます。」

5 : まとめ：暮らしへ (約 5 分)

今の暮らしの裏には地球温暖化がどう関わっているのか、今後も意識していくことを促す。

★ワンポイントアドバイス
小中学生の場合、家に帰って家の人にもワークシートを書いてもらおうと、今の暮らしとの違いがわかる。希望者にはもう一枚ワークシートを渡す。

例)「未来のアルバムはまだ白紙です。あなたはどんな未来にしていきたいですか？」

6 関連情報

■ 出典

- ・「平成 19 年版 家計消費の動向—消費動向調査年報—」(内閣府経済社会総合研究所編)
- ・PET ボトルリサイクル推進協議会

<http://www.petbottle-rec.gr.jp/>

7 地域でのアレンジについて

自分のアルバムを作ってみよう！

生活の変化は、一人ひとり、家族ごと、学校ごと、会社ごと、そして、地域ごとに違います。これまでの自分の、家族の、学校の、会社の、地域のアルバムを作ってみることで、自分たちの暮らしの変化を様々な角度から意識できるようになるでしょう。

自分（たち）にとって必要なモノたちを考えよう

プログラムをやった後で、自分（家族、学校、会社、地域）にとって本当になくってはならないもの、大切なものについて話しあってみてはどうでしょうか。いろんな人の意見を聞いて考えると自分、家族、学校、会社、地域にとって何を大切にすべきか見えてくるかもしれません。プログラムをする前と後で変化がでたらおもしろいですね。

昔のことを聞いてみよう、調べてみよう

身近なおじいちゃんやおばあちゃん、お父さん、お母さんなどに子どもの頃の話聞いて、町や家の中にあるものがどのように変わったか調べてみよう。それらのものが地球温暖化にどう関係しているのか、考えてみよう。

① 町の様子

道端に自動販売機はあったかな？コンビニやスーパーが近所に出来たのはいつ？今はどれくらいあるかな？

② 家の中にあるもの、遊び

家の中にある「電気で動くもの（電化製品）」はどのように変わったかな？テレビが2台（3台）になったのはいつ？エアコンはいつついた？昔はどんな遊びをしていたの？テレビゲームは持っていた？

③ 食べもの

おやつはどんなものだった？朝ごはんのメニューは？その食材はどこで作られたものかな？

● 情報提供のお願い ●

「こんなふうに使ってみたよ」「こんなデータが集まった」というような情報など、ぜひJCCCAへお知らせください。プログラム開発に活かし、全国へと再発信してまいります。よろしくお祈りします。